



東京大学名誉教授

養老 孟司 講演会

読書は 新しい人生を拓く

～ 養老流・読書のすすめ ～

本を読むことは、本の中にある別の世界を自分の頭の中に創造し、別の人生を体験することで、自分の人生を豊かにしてくれます。また、知識や教養を身に付けるだけでなく、文章力を養い、コミュニケーション能力を高めたり、ストレスを解消するなど、自分の生活や人生に役立つきっかけとなる様々な可能性をもっています。

読書が好きな方はもちろん、普段は読書をしない方にもその効用を知っていただくことで、読書をより一層身近なものに感じられることでしょう。

大の本好きとして知られる解剖学者の養老孟司先生に、読書の楽しさ、読書の有用性、読書を通じて自分の頭で考えることの大切さをお話しいたします。

プロフィール

1937年鎌倉市生まれ。東京大学医学部卒業。医学博士、解剖学者。東京大学名誉教授。2003年に発売された「バカの壁」がベストセラー第1位となり、新語・流行語大賞、毎日出版文化賞特別賞を受賞。「唯脳論」「ヒトの壁」「まるありがとう」「虫の虫」「自分」を知りたい君たちへ 読書の壁」など、著書多数。大の虫好きとしても知られる。

日時

令和4年 **12月1日** (木)

午後7時～午後8時30分
(開場：午後6時30分)

会場

全電通労働会館

対象者

都内私立学校関係者、
都内在住・在勤・在学者

参加費

無料

定員

400名 新型コロナウイルス感染状況に応じて適切な人員で実施いたします。
申込者多数の場合は抽選。
受講決定は招待状の発送をもって代えさせていただきます。

申込方法

裏面をご覧ください

締切

令和4年 **11月9日(水) 必着**



新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、講演を中止・縮小させていただくことがあります。講演が中止となった場合は、本財団ホームページに掲載します。